

道徳科学習指導案

学習者 附属小学校 2年1組 30名
指導者 平井 麻理

主題名 あたたかい ところで

1. ねらいと教材

小鳥が、嵐の中でぐみの実をりすに届けたことについて、そのときの小鳥の気持ちを考えたり、「自分だったら」を友達と意見を交流したりする活動を通して、身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

教材名 ぐみの木と小鳥 **出典** 新しいどうとく2 東京書籍

内容項目 B-7 親切、思いやり

(関連する内容項目 B-10 友情、信頼 C-16 より良い学校生活、集団生活の充実)

2. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思いい気持ちを向けることである。自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては、望ましい人間関係を構築することはできない。誰に対しても温かい気持ちを持ち、身近に寄り添い、心を尽くしていくことで、よりよい人間関係が築かれ、多くの人たちと関わりを持ち、自分の生活を豊かにしていくことができる。また、誰かのために行動することで、相手の喜びを引き出すだけでなく、自分の喜びにもつながる。誰に対しても、温かな気持ちを向けるためには、学校の人々や友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いを持ち、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深めていく機会を取り入れていくことが大切である。

(2) 児童の実態【児童観】

本学級の児童は、「Win-Win しあわせ」を学級目標として、学級会や、1日のめあて決めの際には「互いに笑顔になるために」という視点で考えている。「Win-Win しあわせ」になるために、クラスレクリエーションを計画したり、キャラクター作りを提案したりするなど、何事も主体性を持ち、みんなで成長したい・協力していきたいという思いを持っている児童が多く見られる。また、困っている友達がいると、進んで声を掛け、手を貸すことができる児童が多い。日常生活において、進んでペアやグループ活動を行ったり、様々な場面で積極的に「ミニ先生」を行ったりするなど、相手を意識した行動ができています。しかし、11月の「学級えんのさつまいも」の学習を受けて、自分を見つめる振り返りでは、「親切にできている」と自信を持って答える児童は少なかった。理由としては、同じクラスの友達には進んで親切にできているが、他学年への意識が薄かったり、自分の気分に左右されたりと、課題を持つ児童が多かった。3年生に向けて、視野を広げたり、いつでも意識したりできるようになりたいという子供たちの思いが感じ取れる。

内容項目は、身近な人に温かい心で接することの大切さに気付くことができる「親切、思いやり」や、友達のことを理解し、一緒に活動することの楽しさに気付くことができる「友情、信頼」とし、教材は「ぐみの木と小鳥」とした。

(3) 教材の特質と活用方法【教材観】

本教材は、友達のりすを心配するぐみの木の代わりに小鳥がぐみの実を届け、りすの力になるという話である。りすが病気であることを知った小鳥は次の日もぐみの実を持ってくることを約束するがある日嵐が訪れる。小鳥はぐみを届けに行くかどうかじっと考えた後、りすのもとに飛び立っていく。嵐を前に葛藤しながらも相手のことを考え、飛び立った小鳥の姿は、相手を思いやって行動するという強い気持ちを感じ取ることができる。

本時では、ぐみの木に助けてもらった小鳥が、ぐみの木の代わりにりすのお見舞いに行く場面では、涙をうかべて喜ぶりすを見て、親切にすることのよさを実感する小鳥の気持ちに共感できるようにしたい。次に、おさまりそうもない嵐の中、小鳥がりすのところへ行くかどうか迷う場面では、迷っている小鳥の思いを考えられるようにし、その理由を問うことで、りすを思いやる気持ちと嵐で自分が危険な目に遭うかもしれないという気持ちとの間で葛藤する小鳥の思いに気付くことができるようにしたい。その上で、葛藤しながらも病気のりすを心配するぐみの木のために嵐の中を飛んでいくことを選んだ小鳥の思いについて考えを深められるようにしたい。最後に、小鳥がやっとの思いでりすのところに着き、「ありがとう。」と言われたり、ぐみの木に「ご親切は、いつまでも忘れません。」と言われたりしたときの小鳥の表情を想像し、気持ちを考えることを通して、思いやりの心や親切にすることが相手の喜びだけでなく、自分や周囲の人の喜びにも繋がることに気付くことができるようにしたい。

3. 指導計画と評価の計画（全6時間）

単元名 なりたい3年生（4月の自分）の姿に向けて自分にできることを考えよう

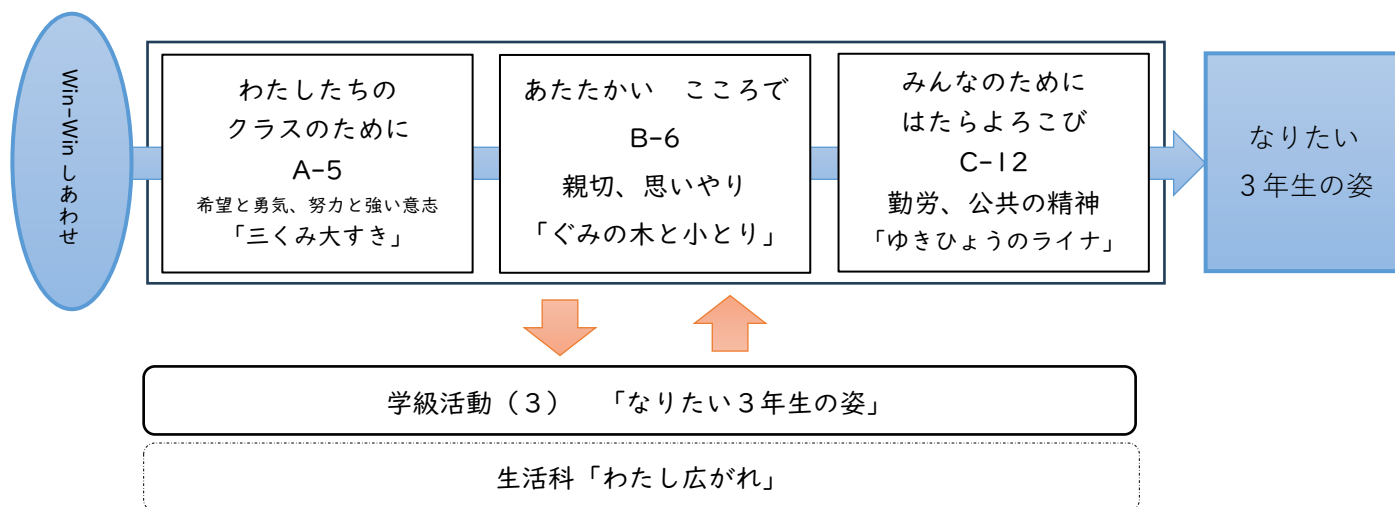
単元目標 なりたい3年生の姿に向けて、困っている人に対する行動を様々な立場の人達の視点で考えたり、自分のこれまでの経験を振り返ったりすることを通して、身近な人に温かい心で接しようとする態度や、お互いを認め合い、友達と仲良く助け合っていこうとする態度を養う。

| 時 | ねらい（◆）と主な学習活動（○） | | 評価規準〈評価方法〉 | | |
|--------------------|---|--|--|-------|--|
| | | | 指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」 | | |
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体 |
| 1 学 活 （3） | ※関連 C-16 より良い学校生活 集団生活の充実 A-4 個性の伸長 | ◆今の自分たちの姿と3年生の姿を出し合ったり、「なりたい3年生のイメージマップ」を書いたりすることを通して、残り3か月の学校生活に対する見通しを持つことができるようにする。 | | | |
| 2 | 主題名 わたしたちのクラスのために 教材名 三くみ大すき 内容項目 A-5 希望と勇気、努力と強い意志 ※関連 A-4 個性の伸長 | | | | |
| | ◆なおきとゆりえの二人が替え歌を作ろうとしたことについて、自分のクラスのために動く良さについて考えたり、自分自身の経験を振り返ったりする活動を通して、学級や学校生活を楽しくしていこうとする態度を育てる。 | | | | |
| | ○前時に出し合った、今の2年生の姿を振り返る。 ○本時のめあてを確かめる。 <div>めあて クラスのために動くことについて考えよう。</div> ○なおきとゆりえがどのようなことを考えながら、替え歌を作ったか話し合う。 | | | | 【評価の着眼点】 自分のクラスのために動く良さについて話し合ったり、自分自身の経験を振り返ったりしてい |

| | | | | |
|----------------|--|--|--|--|
| | <p>○歌が完成して、顔を見合わせてにっこりした2人は、どのようなことを考えていたか自分の考えを持つ。</p> <p>○よりよい2年1組にするために大切なことについて考える。</p> <p>○「なりたい3年生のイメージマップ」を見ながら、自分を振り返る。</p> | | | <p>るか。</p> <p>・〈行動分析〉 〈記録分析〉</p> |
| 3 (本時) | <p>主題名 あたたかい ところで 教材名 ぐみの木と小とり</p> <p>内容項目 B-7 親切、思いやり ※関連 B-10 友情、信頼 C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>◆小鳥が、嵐の中でぐみの実をりすに届けたことについて、そのときの小鳥の気持ちを考えたり、「自分だったら」を友達と意見交流したりする活動を通して、身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。</p> | | | |
| | <p>○「なりたい3年生のイメージマップ」をもとに、現時点での達成度を振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確かめる。</p> <div><p>めあて しんせつについて考えよう。</p></div> <p>○教科書の内容を確かめながら、病気で寝ているりすを見た時の小鳥の気持ちについて考える。</p> <p>○小鳥が嵐の中、りすのところに行った時の気持ちについて考えをワークシートに書く。</p> <p>○自分だったら嵐の中、届けるかについて理由をもとに話し合う。</p> <p>○自分の経験や、親切にすることについて振り返る。</p> <p>○「なりたい3年生のイメージマップ」を見ながら、自分を振り返ったり、加筆したりする。</p> | | | <p>【評価の着眼点】 身近な人に温かい心で接し、親切にする良さについて、嵐の中でぐみの実をりすに届けたときの小鳥の気持ちについて話し合ったり、自分の経験を振り返ったりしているかどうか。</p> <p>・〈行動分析〉 〈記録分析〉</p> |
| 4 学活 (3) | <p>※関連 C-16 より良い学校生活、 集団生活の充実 C-14 勤労、公共の精神</p> | <p>◆学級目標である「Win-Win しあわせ」に向かって協力することの大切さや良さについて理解し、自分の課題にあった具体的な方法を決めることにより、自分自身の協力のあり方について考え、学校生活の中で実践できるようにする。</p> | | |
| 5 | <p>主題名 みんなのために はたらよろこび 教材名 いま、ぼくにできること</p> <p>内容項目 C-14 勤労、公共の精神 ※関連 A-4 個性の伸長</p> <p>◆みんなに喜ばれることが楽しくなってきた「ぼく」の気持ちについて、人の役に立てる喜びや、自分自身の経験について話し合う活動を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働いて役立とうとする態度を育てる。</p> | | | |
| | <p>○「なりたい3年生のイメージマップ」をもとに、現時点での達成度を振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確かめる。</p> <div><p>めあて はたらくことについて考えよう。</p></div> <p>○教科書の内容を確かめながら、地震と津波の時に助けてくれたたくさんの人たちに対してどのようなことを思ったか話し合う。</p> | | | <p>【評価の着眼点】 人の役に立てる喜びについて話し合ったり、自分の経験について振り返ったりしているか。</p> |

| | | | | |
|--------------------|--|---|--|------------------------------|
| | <p>○みんなに喜ばれるのが楽しくなってきた「ぼく」の気持ちについて自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>○自分の経験や、働くことの良さについて振り返る。</p> <p>○「なりたい3年生のイメージマップ」を見ながら、自分を振り返ったり、加筆したりする。</p> | | | <p>・〈行動分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p> |
| 6 学 活 (3) | <p>※関連</p> <p>A-4 個性の伸長</p> <p>C-16 より良い学校生活、 集団生活の充実</p> <p>C-14 勤労、公共の精神</p> | <p>◆なりたい3年生の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自己の課題と照らし合わせながら、友達と比較して自分の目標を見つめ直したり、アドバイスをし合って考えを広げたりする活動を通して、自分に合った解決方法を意思決定し、目標達成のために自己のよさを生かしながら主体的に行動しようとする態度を育てる。</p> | | |

〈単元構想図〉



4. 学習指導過程（3/5）

| | |
|-----------------|---|
| 本時のねらい | 小鳥が、嵐の中ぐみの実をりすに届けたことについて、小鳥の気持ちを考えたり、「自分だったら」を友達と意見交流したりする活動を通して、身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 |
| 評価の着眼点 | 身近な人に温かい心で接し、親切にすることの良さについて、嵐の中ぐみの実をりすに届けたときの小鳥の気持ちについて話し合ったり、自分の経験を振り返ったりしているかどうか。 |
| 具体的な児童の姿 | <p>「りすさんが待っている。ぐみの実をとどけるんだ。」</p> <p>「早く元気になってほしい。」</p> <p>「クラスの友達には、親切にできているけど、他学年にも広げていきたい。」</p> |

| 時間 | 児童の活動 | ○指導及び留意点【選択・決定】【当事者意識】 ※支援を要する児童への手立て ◎評価〈方法〉 |
|----|---|--|
| 5分 | 1. 本時のめあてを確認する。 | |
| | <p>単元のめあて</p> <p>なりたい3年生（4月の自分）の姿にむけて、自分にできることを考えよう。</p> | <p>○本時までには考えた、なりたい3年生の姿を思い返せるようにする。</p> <p>【当事者意識】</p> |

| | | |
|-----|--|--|
| | | <p>・なりたい3年生に近づけているか問い、児童の「まだ完璧にはなっていない」等の言葉から、なりたい3年生に近づくために、学習していくことを伝え、本単元のめあてや本時のめあてを提示する。</p> |
| 5分 | <p>本時のめあて</p> <p>親切にすることについて考えよう。</p> | |
| | <p>2. 教科書の内容を確かめながら、病気で寝ているりすさんを見た時の小鳥の気持ちについて考える。</p> | <p>○教科書を範読し、病気で寝ているりすさんを見た時の小鳥の気持ちやその理由を考えるようにする。</p> <p>・自分を見つめるシート（親切）を見返し、どのような自分になりたいか考えながら紙芝居音声を聞くようにする。</p> |
| | <p>基本発問</p> <p>病気で寝ているりすさんを見たとき、小鳥はどんなことを思ったかな。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿（発言）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫かな。 ・心配だな。 ・なんとかしてあげたい。 ・一人で不安だろうな。 ・来てよかったな。 ・自分にできることはなんだろう。 </div> | |
| 10分 | <p>中心発問</p> <p>じっと考えていた小鳥は、どんな気持ちでりすさんのところに向かったのかな。</p> | |
| | <p>3. 小鳥が嵐の中、りすさんのところに行った時の気持ちについて話し合う。</p> | <p>○ペアや全体で考えを出し合うことで、思いを共有したり、考えを多面的に捉えたりできるようにする。</p> <p>※「自分が危険な思いをするかもしれない」という小鳥の迷いについて児童に問い、小鳥の勇気や覚悟に気付くようにする。</p> <p>○自分だったら嵐の中、届けるかを問い、自分事として考えられるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【当事者意識】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿（発言）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんが待っている。ぐみの実を届けるんだ。 ・りすさんのために行きたい。 ・早く元気になってほしい。 ・ぐみの木さんの頼みだからな。 </div> |
| 15分 | <p>補助発問</p> <p>自分だったら、嵐の中、りすさんにぐみの実を届けるかな。</p> | |
| | <p>4. 自分だったら嵐の中、届けるか理由とともに考えをワークシートに書く。</p> | <p>・ワークシートに自分の考えを書くようにし、黒板のスケールチャートにネームプレートを貼ることで、全員の考えを可視化する。</p> <p style="text-align: right;">【選択・決定】【当事者意識】</p> <p>・理由が一つとは限らないことを伝え、多面的に考えられるようにする。</p> |

| | | |
|------|--|---|
| 10 分 | | <ul style="list-style-type: none">・ 親切をした後の気持ちを考えさせることで、相手が喜んでくれた時の嬉しさに気づけるようにする。 <div>【想定される児童の姿（発言）】<ul style="list-style-type: none">・ 行きたい気持ちはあるけれど、嵐の中飛ぶのは怖いな。・ 自分がけがをして心配させたらいけないな。・ ぐみの木さんの頼みだからな。・ 友達のためだったら行きたい。</div> |
| | <div>基本発問 なりたい3年生に向けて、自分を見つめ直してみよう。</div> | |
| | 5. 自分の経験や、親切にすることの大切さについて振り返る。 | <div>【想定される児童の姿（発言）】<ul style="list-style-type: none">・ 友達には親切にできているけれど、他学年の友達にも広げていきたい。・ 3年生にむけて、色々な人に親切にしていきたい。</div> <p>○児童の振り返りをもとに、友達に親切にする良さや大切さを確認して、次時の学習につなげる。【選択・決定】【当事者意識】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「なりたい3年生のイメージマップ」を見返し、次時への学習に繋げる。 |